

NEWS RELEASE



(総合企画グループ)

〒690-0003 松江市朝日町 484 番地 19

TEL (0852) 24-1234 代表

2025 年 7 月 22 日

次世代バンキングシステムの稼働について

島根銀行(取締役頭取 長岡一彦)は、これまで開発を進めてまいりました「次世代バンキングシステム」へ移行し、本日稼働を開始しましたのでお知らせします。

新システムへの移行作業にあたり、2025 年 7 月 18 日(金)から 2025 年 7 月 21 日(月)までの間、すべてのオンラインサービスを休止させていただきました。お客さまには大変ご不便をおかけしましたことを深くお詫び申し上げますとともに、格別のご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

1. 「次世代バンキングシステム」について

「次世代バンキングシステム」(以下本システム)は当行、SBI グループである SBI 地方創生バンキングシステム株式会社(本社 東京都港区、代表取締役 木村紀義)およびフューチャーアーキテクト株式会社(本社 東京都品川区、代表取締役社長 谷口友彦)によりゼロベースで開発した「地域金融機関向けのクラウドベースの勘定系システム」です。

2. 本システム導入の経緯

当行は、企業にとってデジタル技術を活用した業務の変革(所謂「DX」)が地域活性化のエンジンとなるとの考えのもと、SBI グループとの連携により、事業を営むお客さまの DX 支援に取り組んでおります。また、こうした取組みを推進する上で、まずは、当行が率先してデジタルシフトを進めることが不可欠と考え、しまぎんアプリのリニューアルや、スマートフォン支店「しまホ!」の開設など、お取引のデジタル化を進めており、今回の本システムの稼働は、こうしたデジタルシフトの心臓部となるものであります。そのような取り組みの中、2023 年 1 月 30 日には本システムの利用行となることを発表し、SBI 地方創生バンキングシステム株式会社、フューチャーアーキテクト株式会社と共に開発に取り組み、この度稼働を開始したものです。

3. 本システムの特徴

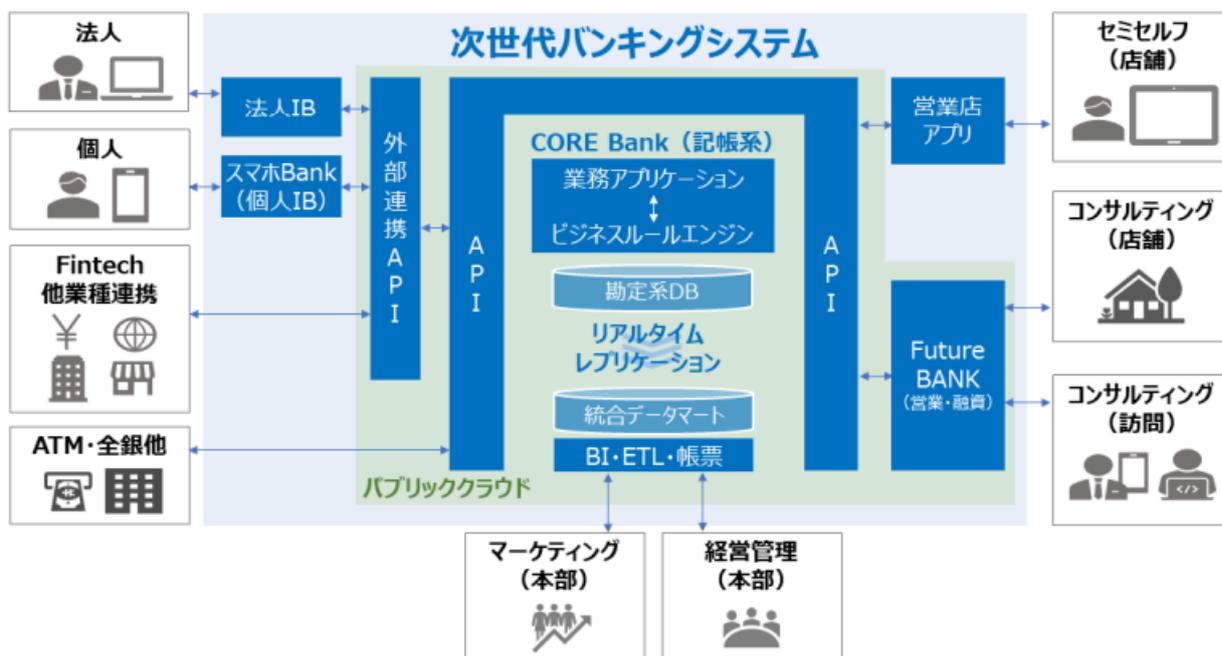
- ①ゼロベースで構築、データをシンプルに
 - ・システムをゼロベースから構築することにより、データの持ち方も「銀行中心」から「お客さま中心」とすることで、手続きがシンプルになり業務効率化を図っています。
- ②デジタルベースにより、ペーパーレス・印鑑レス
 - ・タブレットやセルフキャッシャーを導入することで、銀行事務を紙からデジタルベースに変革し、お客さまの利便性向上を図るとともに、印刷コストの削減や店舗の省スペース化など業務効率化を実現します。
- ③フルオープン API により、簡単外部連携
 - ・フィンテック企業の新しい金融商品やサービスを取り入れやすいシステムとなり、お客さまへタイムリーに新サービスの提供が可能になります。
- ④ルールエンジンで開発スピード UP
 - ・「条件」と「アクション」の組み合わせで構成されるビジネスルールをあらかじめシステム内に構築することで、システム開発の時間を大幅に短縮します。
- ⑤クラウド化及びシステム賃借により、コスト削減
 - ・本システムは AWS (Amazon Web Services) に SBI グループが構築した「SBI 金融クラウド」環境で稼働します。また、システムを賃借することによりコストの平準化を実現しています。

4. 今後の展開について

当行は、2025年度からの3年間を計画期間とする新中期経営計画「ふるさと山陰活性化プロジェクト！～ローカルエンゲージメントの向上を目指します～ リージョナルバンクしまぎん」（2025年4月1日～2028年3月31日）を策定し、取り組みを開始しました。

本システムを最大限に活用することで、「ふるさと山陰活性化プロジェクト！」をキャッチフレーズとして掲げ、地域との関わりや地域社会との連携を意味する「ローカルエンゲージメント」を向上させることをテーマに取り組み、地域に根差した銀行「リージョナルバンク」として「お客さまのもとに足繁く通う」、「フェイス・トゥ・フェイス」の取組を徹底することで、お客さまの「夢」や「課題」を共有し、「夢の実現」や「課題解決」に向けた「共通価値を創造」していくことを通じて、地域に必要とされる銀行、選ばれる銀行、ファーストコールバンクを目指してまいります。

【次世代バンキングシステム イメージ図】



以上

本件に関するお問い合わせ先
 島根銀行 SBI 未来共創プロジェクト推進室
 担当：高瀬博隆 TEL (0852) 24-1239
 小川隆浩 TEL (0852) 24-1131